

第 38 回 エクソンモバイル音楽賞 洋楽部門本賞

ゲルハルト・ボッセ

指揮

〒569-1113 大阪府高槻市別所中の町 4-1-811

Tel / Fax: 072-682-2206

◆ 贈賞理由 ◆

32 年にわたって、世界有数のライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の第 1 コンサートマスターを務めたゲルハルト・ボッセ氏は、1980 年に霧島で国際音楽祭と講習会を創設して以来、わが国の若き音楽学徒に多大な影響を与え、その後も東京藝術大学客員教授として音楽教育に尽力を重ねてきた。一方、在京のオーケストラから指揮者としてもそのオーケストラ経験を請われ、1998 年からは神戸市室内合奏団の首席指揮者、音楽監督として腕を振るっている。また、関西を始め全国のオーケストラにも客演を重ね、その情熱あふれる指揮や説得力に満ちた解釈は、楽員や聴衆に大きな感動を与えている。わが国の音楽教育やオーケストラの発展に与えた影響には計り知れないものがあり、その偉大な功績を讃え、ここに贈賞する。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

1922 年ヴルツェン(ドイツ)生まれ。ライプツィヒ音楽院在学中からゲヴァントハウス管弦楽団の代用メンバーを務め、第二次大戦中はリンツ帝国ブルックナー管弦楽団所属。1946 年ワイマール音楽大学講師、1949 年教授就任。1951 年ライプツィヒ放送交響楽団第 1 コンサートマスター、同時に母校教授就任。1955 年ゲヴァントハウス管弦楽団第 1 コンサートマスター、同弦楽四重奏団第 1 ヴァイオリン奏者として活動を開始。1962 年ゲヴァントハウス・バッハ管弦楽団を創立、ソリスト兼指揮者として活躍。1961 年初来日。1980 年霧島国際音楽祭を創設、現在も名誉音楽監督。1994 年東京藝術大学客員教授、退官後も日本に在住、近年は指揮活動に専念。ゲヴァントハウス管弦楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団等日本の主要オーケストラへの客演多数。2000 年神戸市室内合奏団音楽監督就任。新日本フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者、現在同ミュージック・アドバイザー。東京藝術大学チェンバーオーケストラの指揮者も兼任している。

◆ 主な受賞歴 ◆

1962 年	ドイツ民主共和国国家賞
1972 年	ライプツィヒ市ニキシュ賞
1986 年	ドイツ民主共和国国家賞
1998 年	ドイツ連邦共和国第一等功労十字勲章
2004 年	南日本文化賞(芸術部門)
2005 年	神戸市文化賞
2007 年	音楽クリティック・クラブ特別賞